

12.1.7 景 観

1. 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観

(1) 調査結果の概要

① 主要な眺望点

a. 文献その他の資料調査

主要な眺望点の状況は、「第 3 章 3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況

1. 景観の状況」のとおりである。

主要な眺望点の状況は表 12.1.7-1 及び図 12.1.7-1 のとおりである。現地踏査、聞き取り調査等により、居住地域などにおいて住民が日常的に眺望する景観などを追加し、文献その他の資料調査を補足した。

表 12.1.7-1 主要な眺望点の視認性

番号	調査地点	調査結果
①	芋沢地区	芋沢地区は、水田や農地の中に、住宅が点在する地域である。眺望点周辺は国道 347 の南側に位置しており、住民や観光客の往来に利用されている。眺望点からは、農地と住宅、住宅の左側に位置する薬菜山とその手前に標高約 380m の山が視認される。
②	薬菜山頂上付近	薬菜山は標高 553m の加美町のシンボリックな山で、登山ファンからは加美富士と呼ばれている。山頂付近では東側の視界が開けているため、大崎平野が一望でき、田園風景や集落の街並みが広がる。眺望点からは、様々な樹木が視認されるが、植栽の状況から対象事業実施区域を視認することは難しい。なお、冬場は登山が厳しい積雪量になる。
③	薬菜山神社奥宮	薬菜山は標高 553m の加美町のシンボリックな山で、登山ファンからは加美富士と呼ばれている。薬菜山神社がまつられている。眺望点からは、様々な樹木が視認されるが、植栽の状況から対象事業実施区域を確認することは難しい。なお、冬場は登山が厳しい積雪量になる。
④	鹿原地区	鹿原地区の多くは農地が占め、住宅が点在する。眺望点周辺は、2 車線の車道に面した地点で、住民や薬菜ガーデンへ行く観光客の移動に利用されている。眺望点からは、道路・農地・住宅が視認され、農地の後方は樹高の高い樹木が連なっている。
⑤	つり橋（滝見の橋）	つり橋（滝見の橋）は、大滝川をまたぐ、歩行者用のつり橋である。大滝農村公園の北側に位置している。眺望点周辺は、観光客が荒沢の大滝や溪谷に行くことや、つり橋から大滝を見学するために利用されている。眺望点からは、樹木が広がり、右手後方に薬菜山が視認できるが、対象事業実施区域の視認は難しい。
⑥	荒沢自然館	荒沢自然館は、森林レクリエーション及び学習の場に活用されている。早春にはミズバショウが咲き、夏にはイトトンボが観察できる場所である。眺望点周辺は、荒川自然館の関係者・利用者用の駐車スペースである。眺望点からは、荒川自然館の駐車場から下り斜面に沿うように樹木が茂っているのが確認できる。一方、薬菜山は植栽等に隠れ視認は難しい。
⑦	林道近く	林道近くは、標高 500m 程度の山間に位置し、周辺は樹木に覆われている。北東側約 3 km に荒沢自然館、北西側約 2 km に漆沢ダムがある。眺望点周辺は、林道内であり樹木に囲まれている。眺望点からは、林道の周囲に樹木が茂る場所であり、木々の合間から落葉期にごくわずかに薬菜山が視認できる時期があったが、対象事業実施区域の視認は難しい。
⑧	原地区	原地区は農地の中に、住宅が点在する地域である。眺望点周辺は農地と住民が利用する道路がある。眺望点からは、農地が広がり、薬菜山や、薬菜山の北側にある標高約 380m の山等を視認することができる。
⑨	門沢地区	門沢地区は、農地や住宅が点在する地域である。眺望点周辺は、国道 347 号線に接し、住民や観光客等が往来することに利用されている。眺望点からは、農地・樹木が視認される。また、樹木の隙間から、薬菜山が視認できるが、対象事業実施区域を視認することは難しい。
⑩	小瀬地区	小瀬地区は、農地が広がり、住宅が点在する地域である。眺望点周辺は、国道 347 号線に接し、住民や観光客等が往来することに利用されている。眺望点からは、農地と民家、民家の後方には、薬菜山と周辺の山々も視認されるが、対象事業実施区域は視認することは難しい。

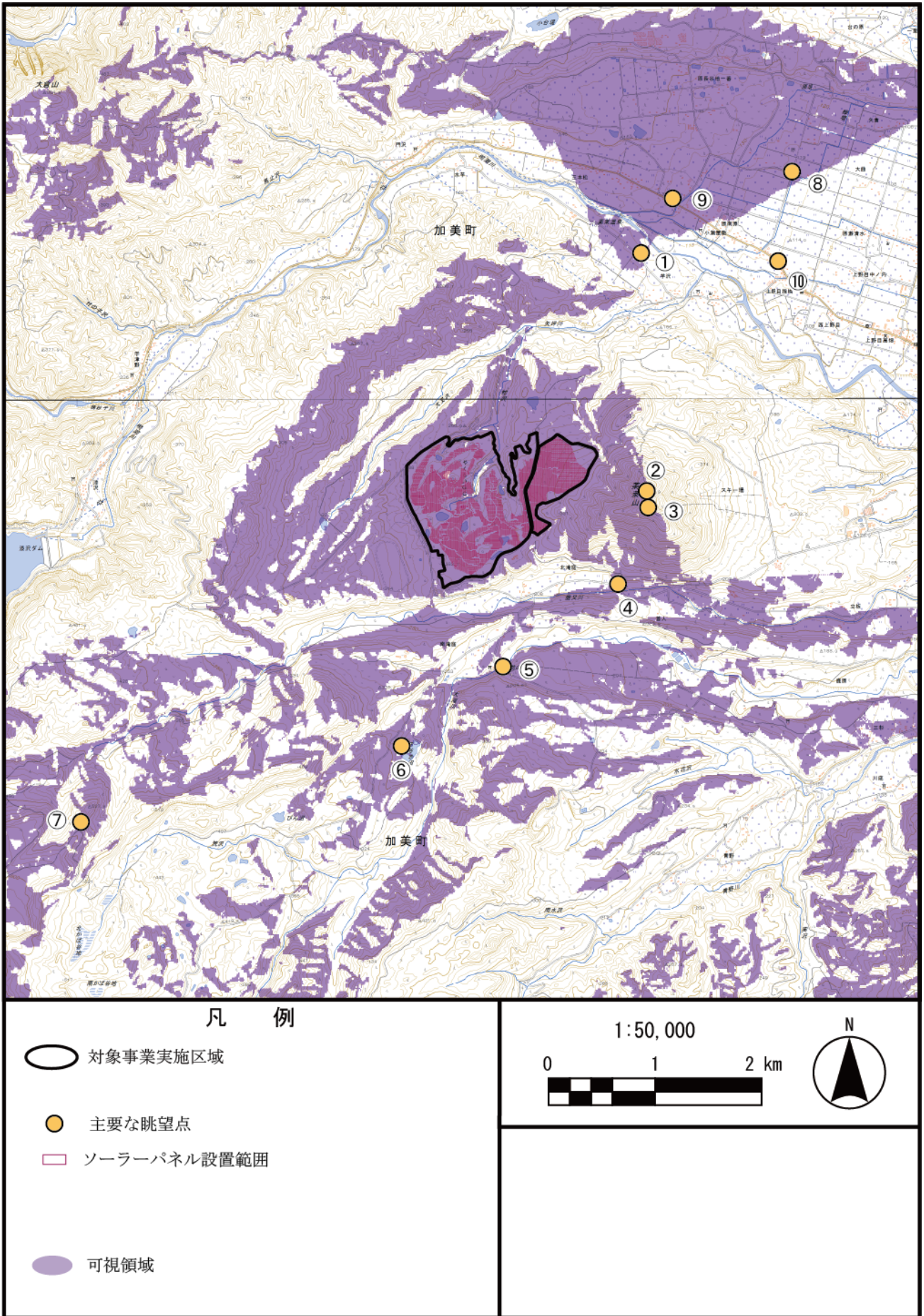


図 12.1.7-1 主要な眺望点の状況

② 景観資源の状況

a. 文献その他の資料調査

景観資源の状況は、「第3章 3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況 1. 景観の状況」のとおりである。対象事業実施区域の周囲には図 12.1.7-2 のとおり、景観資源として薬菜山や不動ノ滝などが存在している。

③ 主要な眺望景観の状況

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

調査地域は対象事業実施区域及びその周囲とした。

(b) 調査地点

調査地域と同様とした。

(c) 調査方法

調査方法は、「① 主要な眺望点」及び「② 景観資源の状況」の調査結果から主要な眺望景観を抽出し、主要な眺望点と景観資源との位置関係の確認など当該情報の整理及び解析を行った。

(d) 調査結果

現地調査により確認した視認性及び対象事業実施区域からの距離・方向等を考慮し、抽出した眺望景観は表 12.1.7-2 のとおりである。

表 12.1.7-2 主要な眺望景観の抽出結果

主要な眺望点	位置関係			対象事業実施区域の視認性	眺望できる景観資源	備考
	方向 (16方位)	距離 (km)	景観区分			
① 芋沢地区	南南西	1.9	中景	×	薬菜山	住宅等の存在する地区(生活環境の場)
② 薬菜山頂上付近	西	0.6	近景	×	薬菜山	不特定多数の利用がある地点
③ 薬菜山神社奥宮	西	0.6	近景	×	薬菜山	同上
④ 鹿原地区	北東	0.8	近景	×	薬菜山	住宅等の存在する地区(生活環境の場)
⑤ つり橋(滝見の橋)	北	0.9	近景	×	薬菜山 不動ノ滝	不特定多数の利用がある地点
⑥ 荒沢自然館	北北東	1.5	中景	×	薬菜山	同上
⑦ 林道近く	北東	4.1	中景	×	薬菜山	薬菜山の西側山裾が視認される地点
⑧ 原地区	南西	3.2	中景	×	薬菜山	行政区の追加地点
⑨ 門沢地区	南西	2.5	中景	×	薬菜山	同上
⑩ 小瀬地区	南西	2.5	中景	×	薬菜山	同上

注：1. 主要な眺望点の番号は、図 12.1.7-1 に対応している。

2. 「位置関係」の「方向」及び「距離」は眺望点から対象事業実施区域の最寄りの境界までの距離と方向を示し、景観区分は「景観工学」(日本まちづくり協会編、平成13年)の区分を参考に下記のとおりとした。
近景：約1km以内 中景：1～5km 遠景：5km以上

3. 「対象事業実施区域の視認性」の判断基準は、現地調査(表 12.1.7-1)を基に下記のとおりとした。
○：視認できる。 ×：視認できない。又は視認できない可能性がある。

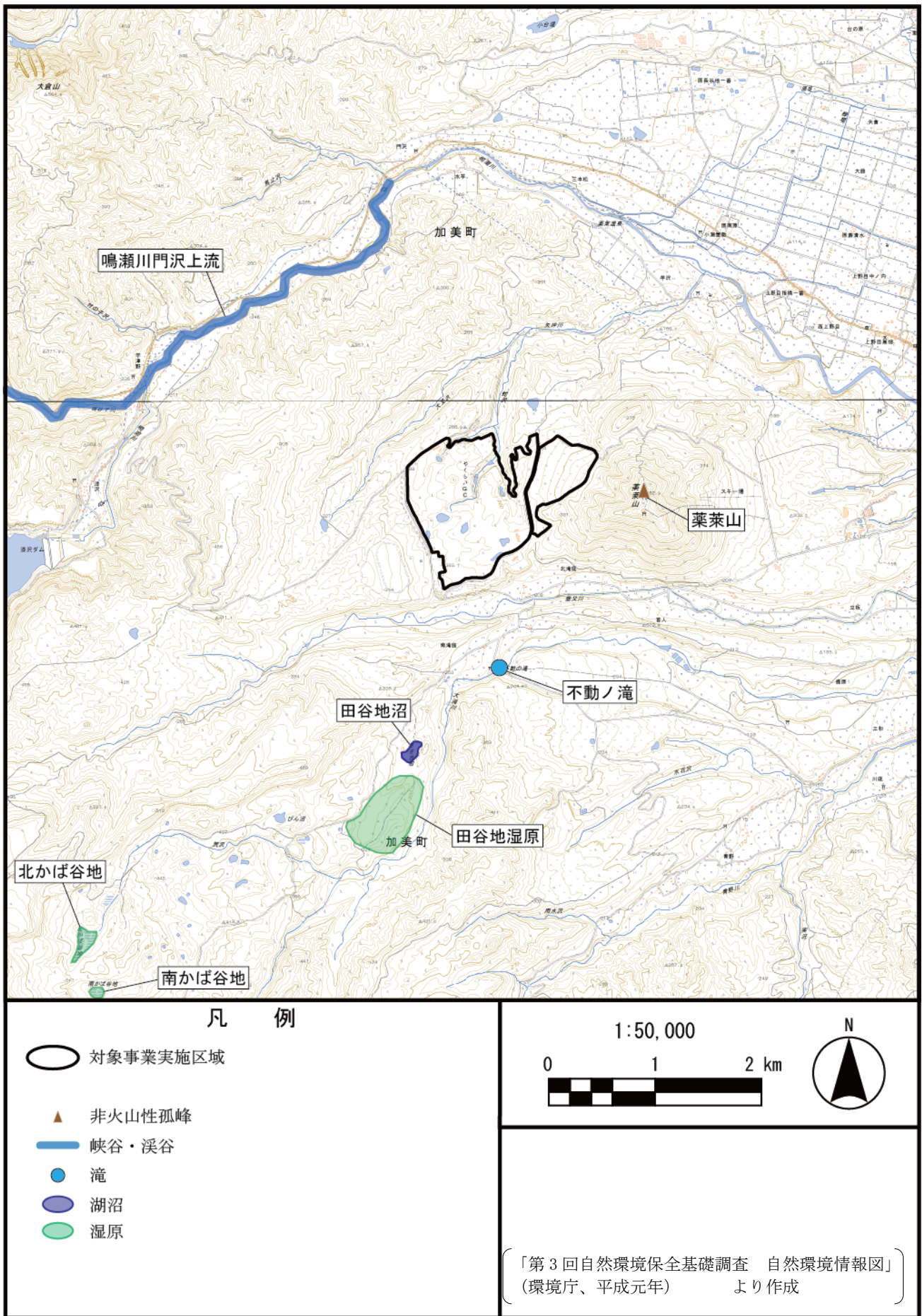


図 12.1.7-2 景観資源の状況

b. 現地調査

(a) 調査地域

調査地域は対象事業実施区域及びその周囲とした。

(b) 調査地点

調査地点は図 12.1.7-1 のとおりであり、対象事業実施区域の周囲の 10 地点とした。

(c) 調査期間

調査期間は、以下のとおりとした。なお、積雪期は、積雪により②薬菜山頂上付近、③薬菜山神社奥宮、⑦林道近くの調査が出来なかった。

繁茂期：令和 4 年 8 月 18、19 日

紅葉期：令和 4 年 11 月 11 日

落葉期：令和 4 年 12 月 11、12 日

積雪期：令和 5 年 1 月 7 日

(d) 調査方法

現地調査による写真撮影及び目視確認による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。写真は、対象事業実施区域方向の眺望を撮影した。撮影諸元は、表 12.1.7-3 のとおりである。

表 12.1.7-3 撮影諸元

使用カメラ	キヤノン EOS RP
使用レンズ	CANON RF24-105mm F4-7.1 IS STM

(e) 調査結果

調査地点ごとの調査結果は図 12.1.7-3 のとおりである。

<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月19日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月11日</p>	

図 12.1.7-3(1) 主要な眺望点からの各期の眺望 (①芋沢地区 繁茂期・紅葉期)

<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月11日</p>		
<p>積雪期</p> <p>撮影日 令和5年1月7日</p>		
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置</p>	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の北東、最短距離約 1.9 km に位置する眺望点</p>
 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> > 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル 	<p>眺望特性</p>	<p>芋沢地区は、水田や農地の中に、住宅が点在する地域である。</p> <p>眺望点周辺は国道 347 の南側に位置しており、住民や観光客の往来に利用されている。</p> <p>眺望点からは、農地と住宅、住宅の左側に薬菜山とその手前に標高約 380m の山が視認される。</p>

図 12. 1. 7-3(2) 主要な眺望点からの各期の眺望 (①芋沢地区 落葉期・積雪期)



<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月19日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月11日</p>	

図 12. 1. 7-3 (3) 主要な眺望点からの各期の眺望 (②薬菜山頂上付近 繁茂期・紅葉期)



<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月11日</p>		
<p>積雪期</p> <p>撮影日 -</p>	<p>積雪により調査できなかった。</p>	
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>  <p>凡例 ➤ 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル</p>	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の東、最短距離約0.6kmに位置する眺望点</p> <p>眺望特性</p> <p>薬菜山は標高553mの加美町のシンボリックな山で、登山ファンからは加美富士と呼ばれている。山頂付近では東側の視界が開けているため、大崎平野が一望でき、田園風景や集落の街並みが広がる。</p> <p>眺望点からは、様々な樹木が視認されるが、植栽の状況から対象事業実施区域を視認することは難しい。</p> <p>なお、冬場は登山が厳しい積雪量になる。</p>

図 12.1.7-3(4) 主要な眺望点からの各期の眺望 (②薬菜山頂上付近 落葉期・積雪期)



<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月19日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月11日</p>	

図 12. 1. 7-3 (5) 主要な眺望点からの各期の眺望 (③薬菜山神社奥宮 繁茂期・紅葉期)


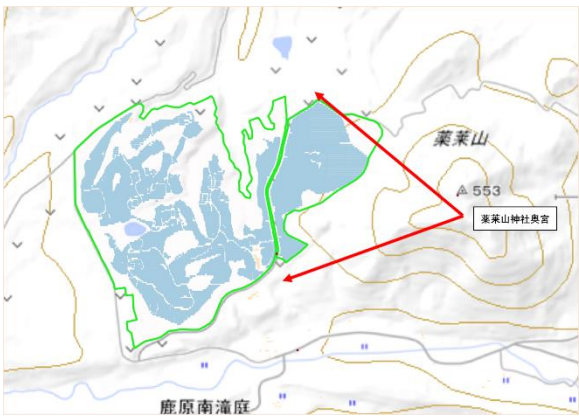
<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月11日</p>		
<p>積雪期</p> <p>撮影日 -</p>	<p>積雪により調査できなかった。</p>	
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> > 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル 	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の東、最短距離約0.6kmに位置する眺望点</p> <p>薬菜山は標高553mの加美町のシンボリックな山で、登山ファンからは加美富士と呼ばれている。薬菜山神社がまつられている。</p> <p>眺望点からは、様々な樹木が視認されるが、植栽の状況から対象事業実施区域を確認することは難しい。</p> <p>なお、冬場は登山が厳しい積雪量になる。</p>

図 12.1.7-3(6) 主要な眺望点からの各期の眺望 (③薬菜山神社奥宮 落葉期・積雪期)

繁茂期



撮影日

令和4年8月19日

紅葉期



撮影日

令和4年11月11日

図 12.1.7-3(7) 主要な眺望点からの各期の眺望 (④鹿原地区 繁茂期・紅葉期)

<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月11日</p>		
<p>積雪期</p> <p>撮影日 令和5年1月8日</p>		
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の南、最短距離約0.8kmに位置する眺望点</p>
 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル 	<p>眺望特性</p>	<p>鹿原地区の多くは農地が占め、住宅が点在する。</p> <p>眺望点周辺は、2車線の車道に面した地点で、住民や薬菜ガーデンへ行く観光客の移動に利用されている。</p> <p>眺望点からは、道路・農地・住宅が視認され、農地の後方は樹高の高い樹木が連なっている。</p>

図 12. 1. 7-3(8) 主要な眺望点からの各期の眺望 (④鹿原地区 落葉期・積雪期)



<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月19日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月11日</p>	

図 12. 1. 7-3 (9) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑤つり橋 (滝見の橋) 繁茂期・紅葉期)

<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月11日</p>	
<p>積雪期</p> <p>撮影日 令和5年1月8日</p>	
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>	<p>位置 対象事業実施区域の南、最短距離約0.9kmに位置する眺望点</p>
 <p>凡例 ➤ 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル</p>	<p>眺望特性</p> <p>つり橋（滝見の橋）は、大滝川をまたぐ、歩行者用のつり橋である。大滝農村公園の北側に位置している。</p> <p>眺望点周辺は、観光客が荒沢の大滝や溪谷に行くことや、つり橋から大滝を見学するために利用されている。</p> <p>眺望点からは、樹木が広がり、右手後方に薬菜山が視認できるが、対象事業実施区域の視認は難しい。</p>

図 12.1.7-3(10) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑤つり橋 (滝見の橋) 落葉期・積雪期)

<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月19日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月11日</p>	

図 12. 1. 7-3 (11) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑥荒沢自然館 繁茂期・紅葉期)

<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月12日</p>	
<p>積雪期</p> <p>撮影日 令和5年1月7日</p>	
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>  <p>凡例 ➤ 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル</p>	<p>位置 対象事業実施区域の南南西、最短距離約1.5kmに位置する眺望点</p> <p>眺望特性 荒沢自然館は、森林レクリエーション及び学習の場に活用されている。早春にはミズバショウが咲き、夏にはイトトンボが観察できる場所である。 眺望点周辺は、荒川自然館の関係者・利用者用の駐車スペースである。 眺望点からは、荒川自然館の駐車場から下り斜面に沿うように樹木が茂っているのが確認できる。一方、薬菜山は植栽等に隠れ視認は難しい。</p>

図 12.1.7-3(12) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑥荒沢自然館 落葉期・積雪期)



<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月18日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月11日</p>	

図 12. 1. 7-3 (13) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑦林道近く 繁茂期・紅葉期)


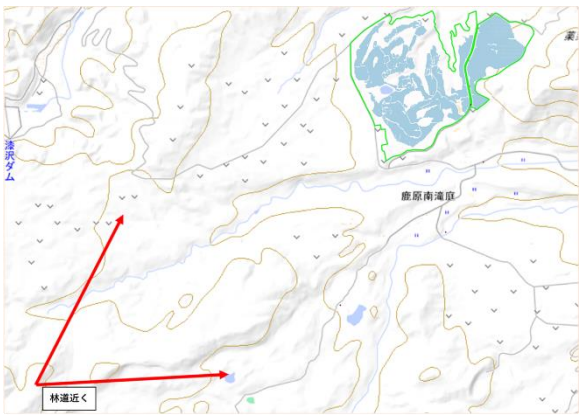
<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月12日</p>		
<p>積雪期</p> <p>撮影日 -</p>	<p>積雪により調査できなかった。</p>	
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> > 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — バネル 	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の南西、最短距離約 4.1 km に位置する眺望点</p> <p>林道近くは、標高 500m 程度の山間に位置し、周辺は樹木に覆われている。北東側約 3 km に荒沢自然館、北西側約 2 km に漆沢ダムがある。</p> <p>眺望点周辺は、林道内であり樹木に囲まれている。</p> <p>眺望点からは、林道の周囲に樹木が茂る場所であり。木々の合間から落葉期にごくわずかに薬菜山が視認できる時期があったが、対象事業実施区域の視認は難しい。</p>

図 12.1.7-3(14) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑦林道近く 落葉期・積雪期)

<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月19日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月11日</p>	

図 12. 1. 7-3(15) 主要な眺望点からの各期の眺望 (㊸原地区 繁茂期・紅葉期)

<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月12日</p>			
<p>積雪期</p> <p>撮影日 令和5年1月7日</p>			
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル 	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の北東、最短距離約 3.2 km に位置する眺望点</p> <p>原地区は農地の中に、住宅が点在する地域である。</p> <p>眺望点周辺は農地と住民が利用する道路がある。</p> <p>眺望点からは、農地が広がり、薬菜山や、薬菜山の北側にある標高約 380m の山等を視認することができる。</p>	

図 12.1.7-3(16) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑧原地区 落葉期・積雪期)



<p>繁茂期</p> <p>撮影日 令和4年8月19日</p>	
<p>紅葉期</p> <p>撮影日 令和4年11月16日</p>	

図 12. 1. 7-3 (17) 主要な眺望点からの各期の眺望 (㊟門沢地区 繁茂期・紅葉期)

<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月12日</p>			
<p>積雪期</p> <p>撮影日 令和5年1月7日</p>			
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の北北東、最短距離約 2.5 km に位置する眺望点</p>	
 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> > 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — バネル 	<p>眺望特性</p>	<p>門沢地区は、農地や住宅が点在する地域である。</p> <p>眺望点周辺は、国道 347 号線に接し、住民や観光客等が往来することに利用されている。</p> <p>眺望点からは、農地・樹木が視認される。また、樹木の隙間から、薬菜山が視認できるが、対象事業実施区域を視認することは難しい。</p>	

図 12. 1. 7-3 (18) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑨門沢地区 落葉期・積雪期)

繁茂期



撮影日

令和4年8月19日

紅葉期



撮影日

令和4年11月11日

図 12. 1. 7-3 (19) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑩小瀬地区 繁茂期・紅葉期)



<p>落葉期</p> <p>撮影日 令和4年12月12日</p>			
<p>積雪期</p> <p>撮影日 令和5年1月7日</p>			
<p>対象事業実施区域・撮影範囲・撮影位置などが分る地図</p>	<p>位置</p>	<p>対象事業実施区域の北東、最短距離約 2.5 km に位置する眺望点</p>	
 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 水平面角60度の範囲 — 対象事業実施区域 — パネル 	<p>眺望特性</p>	<p>小瀬地区は、農地が広がり、住宅が点在する地域である。</p> <p>眺望点周辺は、国道 347 号線に接し、住民や観光客等が往来することに利用されている。</p> <p>眺望点からは、農地と民家、民家の後方には、栗葉山と周辺の山々も視認されるが、対象事業実施区域は視認することは難しい。</p>	

図 12. 1. 7-3 (20) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑩小瀬地区 落葉期・積雪期)

(2) 予測及び評価の結果

① 土地又は工作物の存在又は供用

a. 地形改変及び施設が存在

(a) 環境保全措置

地形改変及び施設が存在に伴う景観への影響を低減するための環境保全措置は、以下のとおりである。

- ・ 造成により生じた切盛法面等は可能な限り緑化に努め、修景を図る。
- ・ 周辺の地形を利用しながら可能な限り造成面積、伐採面積を小さくする。
- ・ 残置森林等を確保することにより、周辺からの景観に配慮する。
- ・ 太陽光パネル設置範囲を隣接町道（町道薬菜線）沿いに設置するパネルの一部を移動させ離隔をとる。
- ・ 隣接町道（町道薬菜線）の両側に管理道路を設置し、当該管理道路部分をできるだけ盛土して、隣接町道（町道薬菜線）から発電所内をできるだけ直接視認できない計画とする。

(b) 予 測

7. 主要な眺望点及び景観資源の状況

(7) 予測地域

対象事業実施区域及びその周囲とした。

(イ) 予測地点

主要な眺望点は表 12. 1. 7-2 に示す 10 地点とし、その位置は図 12. 1. 7-1 のとおりである。

景観資源は、図 12. 1. 7-2 のとおりである。

(ウ) 予測対象時期

すべての太陽電池発電設備が完成した時期とした。

(エ) 予測手法

主要な眺望点及び景観資源の位置と対象事業実施区域を重ねることにより影響の有無を予測した。

(オ) 予測結果

主要な眺望点及び景観資源の位置に対象事業実施区域を重ねた結果は、図 12. 1. 7-4 のとおりである。

主要な眺望点 10 地点及び景観資源はすべて対象事業実施区域外であり、直接の改変はない。また、主要な眺望点から太陽光発電施設の眺望においては、景観資源の特徴を捉えられない、又は視認できないことから影響はないと予測する。

したがって、主要な眺望点及び景観資源への影響はないと予測する。

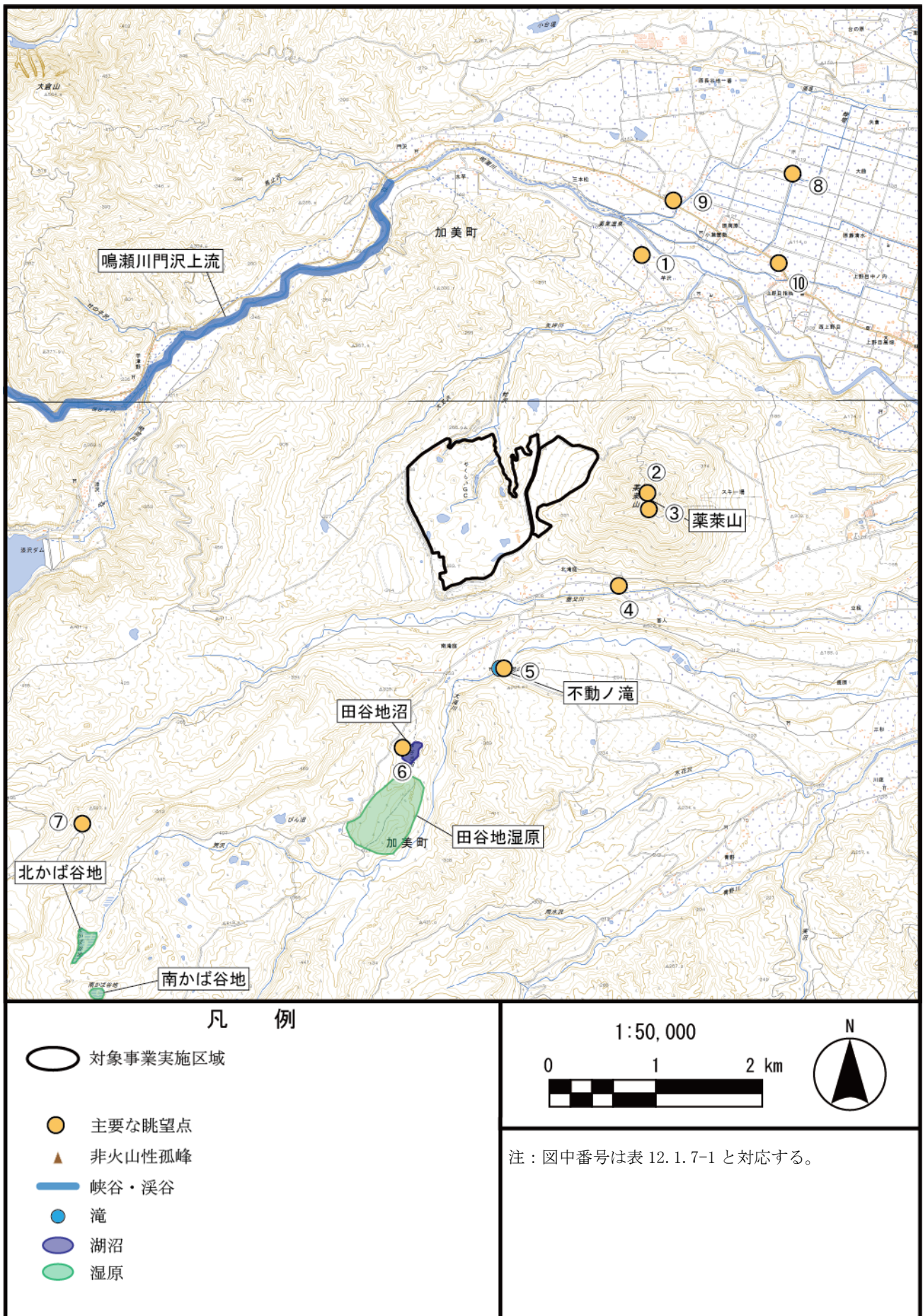


図 12.1.7-4 主要な眺望点及び景観資源と対象事業実施区域の重ね合わせ

4. 主要な眺望景観の状況

(7) 予測地域

対象事業実施区域及びその周囲とした。

(4) 予測地点

予測地点は表 12.1.7-2 に示す 10 地点とし、その位置は図 12.1.7-1 のとおりである。

(5) 予測対象時期

すべての太陽電池発電設備が完成した時期とした。

(E) 予測手法

主要な眺望点から撮影する現況の眺望景観の写真に、将来の太陽電池発電設備の完成予想図を合成するフォトモンタージュ法により、眺望の変化の程度を視覚的表現によって予測した。

(オ) 予測結果

予測地点ごとの予測結果は、表 12.1.7-4 及び図 12.1.7-5 のとおりである。いずれの地点からも、対象事業実施区域は、視認することができず、眺望景観への変化はないと予測する。

表 12.1.7-4 主要な眺望点からの眺望景観の予測結果

番号	主要な眺望点	予測結果
①	芋沢地区	住宅と住宅後方の樹木や、住宅脇に視認される山の影響により、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。
②	菓菓山頂上付近	眺望点からは、様々な樹木が視認されるが、植栽の状況から対象事業実施区域を確認することは難しく、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
③	菓菓山神社奥宮	眺望点からは、様々な樹木が視認されるが、植栽の状況から対象事業実施区域を確認することは難しく、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
④	鹿原地区	対象事業実施区域は、眺望点からみられる樹林よりさらに奥に位置し、これらの樹木に遮られ、眺望点からは対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
⑤	つり橋（滝見の橋）	対象事業実施区域は、眺望点からみられる木々の枝や茂み等の奥に位置し、樹木等に遮られるため、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
⑥	荒沢自然館	荒沢自然館周辺の、斜面沿いに茂る樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
⑦	林道近く	対象事業実施区域は、眺望点からは茂みの奥に位置し視認が難しい。落葉が進んだ季節には、樹木の隙間ができたため、僅かに菓菓山（の頂上付近の一部）を視認することができるものの、これらの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
⑧	原地区	対象事業実施区域は、菓菓山の北側に位置する山々に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
⑨	門沢地区	対象事業実施区域は、周囲の植栽や、菓菓山の北側に位置する山々に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。
⑩	小瀬地区	対象事業実施区域は、菓菓山の北側に位置する山等に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。

注：主要な眺望点の番号は、図 12.1.7-1 に対応している。

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて中心付近に位置する。 住宅と住宅後方の樹木や、住宅の左側に視認される、山の影響により、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(1) 主要な眺望点からの各期の眺望 (①芋沢地区 繁茂期)

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて中心付近に位置する。 住宅と住宅後方の樹木や、住宅の左側に視認される、山の影響により、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(2) 主要な眺望点からの各期の眺望 (①芋沢地区 紅葉期)

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて中心付近に位置する。住宅と住宅後方の樹木や、住宅の左側に視認される、山の影響により、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(3) 主要な眺望点からの各期の眺望 (①芋沢地区 落葉期)

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて中心付近に位置する。住宅と住宅後方の樹木や、住宅の左側に視認される山の影響により、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(4) 主要な眺望点からの各期の眺望 (①芋沢地区 積雪期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて眼下に位置する。繁茂期は隙間なく茂る樹木の影響もあり、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12. 1. 7-6 (5) 主要な眺望点からの各期の眺望 (②薬菜山頂上付近 繁茂期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて眼下に位置する。紅葉期は落葉が始まるが樹木の影響もあり、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(6) 主要な眺望点からの各期の眺望 (②薬菜山頂上付近 紅葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて眼下に位置する。 落葉期は、木々の隙間ができるようになるものの、落葉していない背の低い樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできないことから、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(7) 主要な眺望点からの各期の眺望 (②薬菜山頂上付近 落葉期)

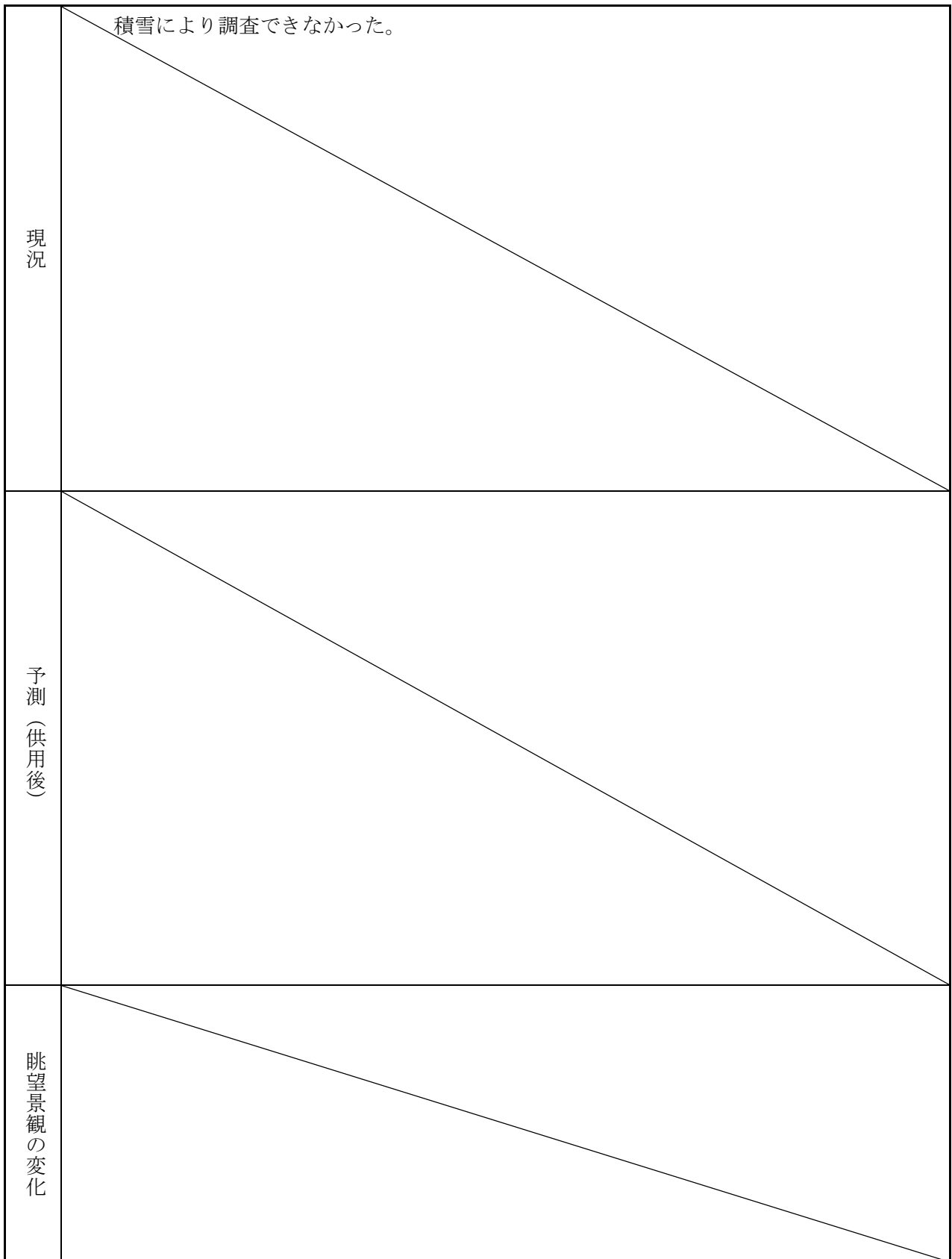


図 12. 1. 7-5 (8) 主要な眺望点からの各期の眺望 (②薬菜山頂上付近 積雪期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて眼下に位置する。繁茂期は隙間なく茂る樹木の影響もあり、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12. 1. 7-7 (9) 主要な眺望点からの各期の眺望 (③薬菜山神社奥宮 繁茂期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて眼下に位置する。紅葉期は徐々に落葉が始まるが、樹木の影響もあり、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(10) 主要な眺望点からの各期の眺望 (③薬菜山神社奥宮 紅葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からみて眼下に位置する。 落葉期は、木々の隙間ができるものの、落葉していない樹木等に遮られて対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(11) 主要な眺望点からの各期の眺望 (③薬菜山神社奥宮 落葉期)

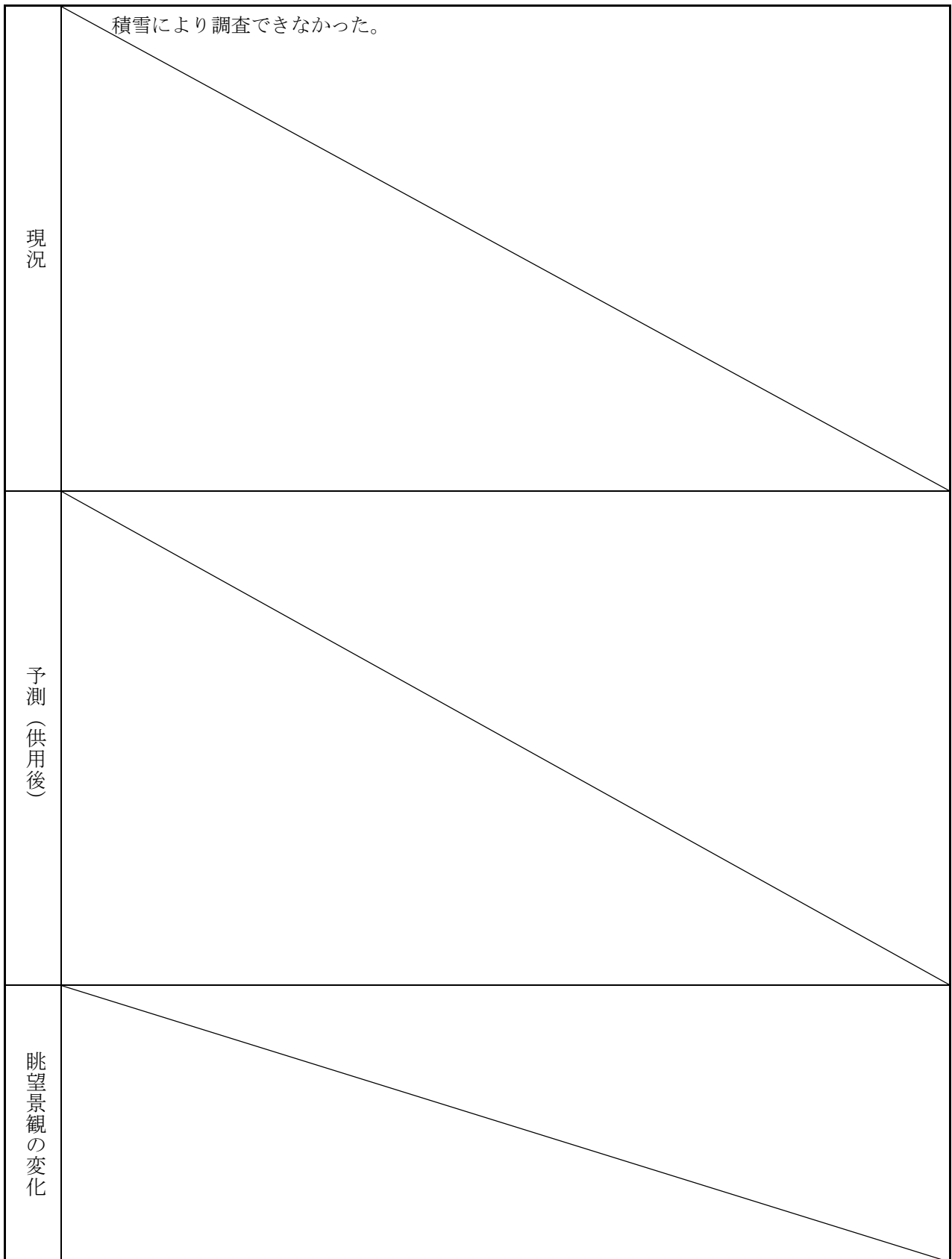


図 12.1.7-5(12) 主要な眺望点からの各期の眺望 (③薬菜山神社奥宮 積雪期)

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は、赤矢印に示す範囲となり、手前に位置する樹林よりさらに奥に位置する。これらの樹木に遮られ、眺望点からは対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-8(13) 主要な眺望点からの各期の眺望 (④鹿原地区 繁茂期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は、赤矢印に示す範囲となり、手前に位置する樹林よりさらに奥に位置する。これらの樹木に遮られ、眺望点からは対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(14) 主要な眺望点からの各期の眺望 (④鹿原地区 紅葉期)

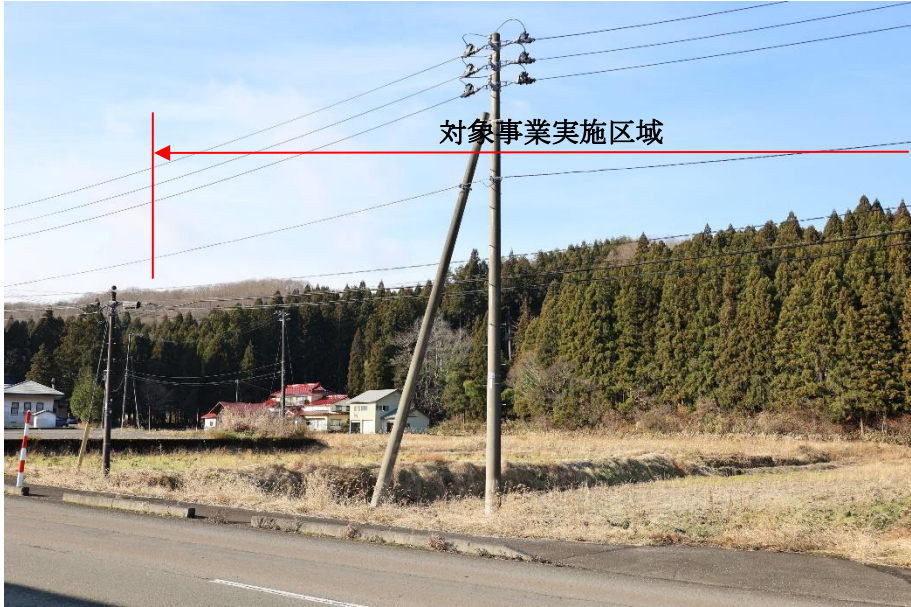

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は、赤矢印に示す範囲となり、手前に位置する樹林よりさらに奥に位置する。これらの樹木に遮られ、眺望点からは対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。なお、落葉期においても、樹木の落葉がなく、対象事業実施区域の視認性は、繁茂期・紅葉期とほぼ変わらない。</p>

図 12.1.7-5(15) 主要な眺望点からの各期の眺望 (④鹿原地区 落葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は、赤矢印に示す範囲となり、手前に位置する樹林よりさらに奥に位置する。これらの樹木に遮られ、眺望点からは対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。なお、積雪期においても、樹木の落葉がなく、対象事業実施区域の視認性は、他の時期とほぼ変わらない。</p>

図 12.1.7-5(16) 主要な眺望点からの各期の眺望 (④鹿原地区 積雪期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは茂みの奥に位置する。これらの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-9(17) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑤つり橋 (滝見の橋) 繁茂期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは茂みの奥に位置する。これらの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(18) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑤つり橋 (滝見の橋) 紅葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは木々の枝や茂み等の奥に位置する。落葉期に入り多少視界は開けるものの、引き続き樹木等に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5 (19) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑤つり橋 (滝見の橋) 落葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは木々の枝や茂み等の奥に位置する。落葉しているため多少視界は開けるものの、引き続き樹木等に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5 (20) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑤つり橋 (滝見の橋) 積雪期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは木々の茂みの奥に位置する。斜面沿いに茂る樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-10 (21) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑥荒沢自然館 繁茂期)

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは木々の茂みの奥に位置する。斜面沿いに茂る樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(22) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑥荒沢自然館 紅葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは木々の茂みの奥に位置する。落葉期に入り多少視界は開けるものの、引き続き斜面沿いの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5 (23) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑥荒沢自然館 落葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは木々の茂みの奥に位置する。落葉している為多少視界は開けるものの、引き続き斜面沿いの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(24) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑥荒沢自然館 積雪期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは茂みの奥に位置する。これらの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-11 (25) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑦林道近く 繁茂期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは茂みの奥に位置する。落葉が始まり、樹木の隙間ができたため、僅かに薬菜山（の頂上付近の一部）を視認することができるものの、これらの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(26) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑦林道近く 紅葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、眺望点からは茂みの奥に位置する。落葉し、樹木の隙間ができたため、僅かに菓菜山（の頂上付近の一部）を視認することができるものの、これらの樹木に遮られ、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(27) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑦林道近く 落葉期)

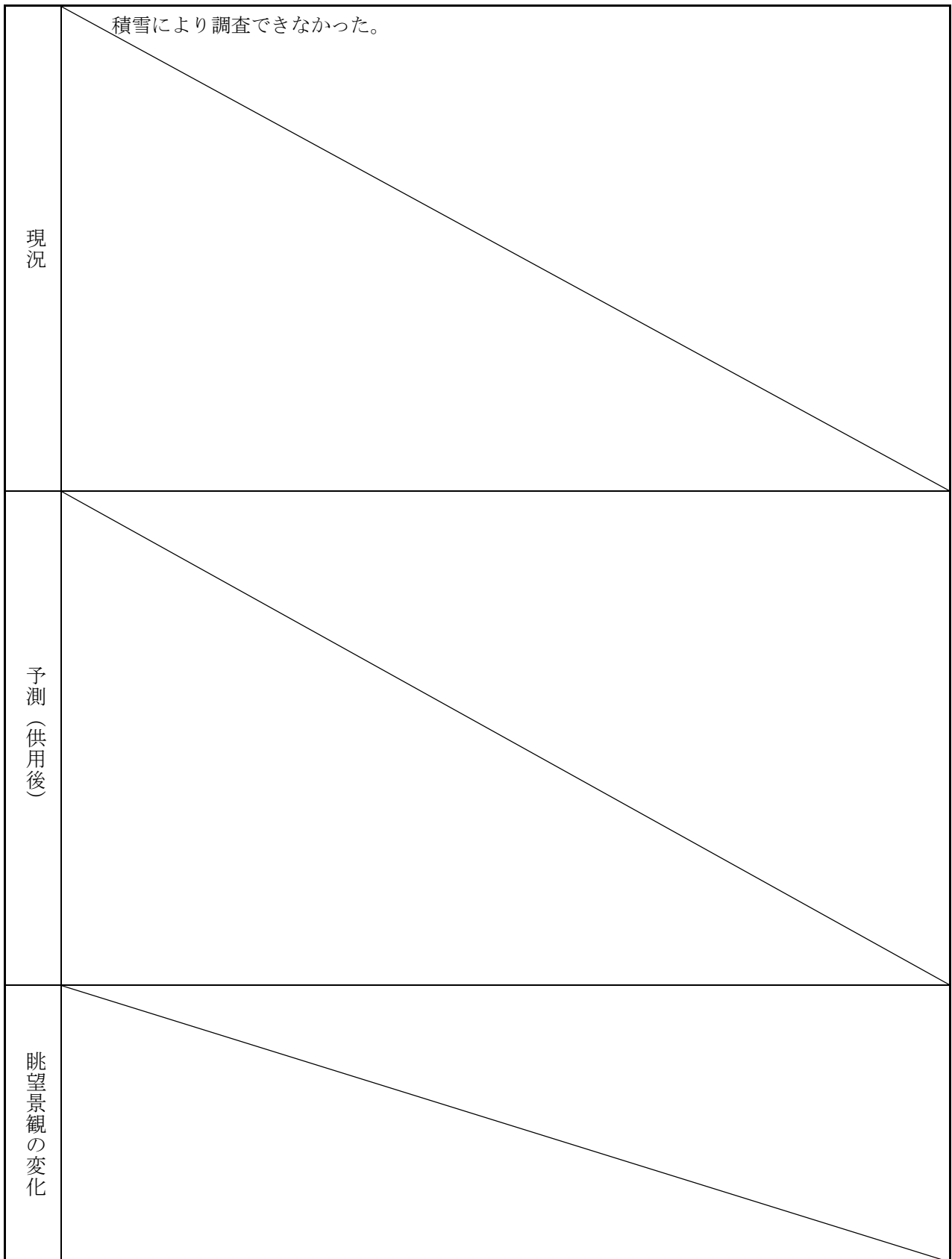


図 12.1.7-5(28) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑦林道近く 積雪期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、薬菜山の北側（写真右側）に位置している。薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-12(29) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑧原地区 繁茂期）



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、薬菜山の北側（写真右側）に位置している。薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12. 1. 7-5 (30) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑧原地区 紅葉期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、薬菜山の北側（写真右側）に位置している。薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(31) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑧原地区 落葉期）

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、薬菜山の北側（写真右側）に位置している。薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12. 1. 7-5 (32) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑧原地区 積雪期）



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望 景観 の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、手前の植栽の奥に位置していることに加え、⑧原地区と同様に、仮に植栽がない場合でも、薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ視認できない場所に位置することから、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-13(33) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑨門沢地区 繁茂期）



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望 景観 の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、手前の植栽の奥に位置していることに加え、⑧原地区と同様に、仮に植栽がない場合でも、薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ視認できない場所に位置することから、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(34) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑨門沢地区 紅葉期）



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望 景観 の 変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、手前の植栽の奥に位置していることに加え、⑧原地区と同様に、仮に植栽がない場合でも、薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ視認できない場所に位置することから、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(35) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑨門沢地区 落葉期）



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望 景観 の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、手前の植栽の奥に位置していることに加え、⑧原地区と同様に、仮に植栽がない場合でも、薬菜山の北側に位置する山々に隔てられ視認できない場所に位置することから、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(36) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑨門沢地区 積雪期）

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、薬菜山の北側に位置する山等に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-14 (37) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑩小瀬地区 繁茂期)



<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、薬菜山の北側に位置する山等に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(38) 主要な眺望点からの各期の眺望 (⑩小瀬地区 紅葉期)

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、薬菜山の北側に位置する山等に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(39) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑩小瀬地区 落葉期）

<p>現況</p>	
<p>予測 (供用後)</p>	
<p>眺望景観の変化</p>	<p>対象事業実施区域は赤矢印に示す範囲となり、中央に位置する薬菜山の北側（写真右側）に位置する。対象事業実施区域は、薬菜山の北側に位置する山等に隔てられ、眺望点からは、対象事業実施区域を視認することはできず、眺望景観への変化はないと予測する。</p>

図 12.1.7-5(40) 主要な眺望点からの各期の眺望（⑩小瀬地区 積雪期）

(c) 評価の結果

7. 環境影響の回避、低減に係る評価

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するための環境保全措置は、以下のとおりである。

- ・ 造成により生じた切盛法面等は可能な限り緑化に努め、修景を図る。
- ・ 周辺の地形を利用しながら可能な限り造成面積、伐採面積を小さくする。
- ・ 残置森林等を確保することにより、周辺からの景観に配慮する。
- ・ 太陽光パネル設置範囲を隣接町道（町道葉菜線）沿いに設置するパネルの一部を移動させ離隔をとる。
- ・ 隣接町道（町道葉菜線）の両側に管理道路を設置し、当該管理道路部分をできるだけ盛土して、隣接町道（町道葉菜線）から発電所内をできるだけ直接視認できない計画とする。

上記の環境保全措置を講じることにより、地形改変及び施設の存在による主要な眺望点、景観資源、主要な眺望景観への影響は小さいと予測されることから、実行可能な範囲内で回避・低減が図られているものと評価する。